

## 週報

## 感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成29年						平成30年																
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月 ~4日	11月 ~11日	11月 ~18日	11月 ~25日	12月 ~2日	12月 ~9日	12月 ~16日
カンピロバクター	142	87	98	161	109	84	37	39	48	105	75	71	122	98	160	113	28	34	24	23	32	21	16
病原性大腸菌	206	161	102	112	73	110	66	51	44	98	78	83	111	80	73	69	22	42	29	26	33	31 (32)	31
腸管出血性大腸菌	1	1	0	2	1	0	0	1	1	0	0	1	1	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0
サルモネラ	18	29	9	12	16	3	3	1	1	5	3	20	12	22	13	9	0	1	3	1	2	1	4
黄色ブドウ球菌 MSSA	32	17	24	24	9	12	14	11	7	24	10	10	16	26	20	17	6	8	2	6	4	3	5
黄色ブドウ球菌 MRSA	27	16	22	19	15	16	12	11	13	12	12	17	14	11	18	7	5	6	1	6	4	6	4
腸炎ヒプリオ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	9	11	5	14	3	1	0	7	5	3	1	2	4	2	2	1	0	2	0	1	1	0 (1)	1
ロタウイルス	1	1	0	0	0	0	2	11	18	50	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
アデノウイルス	0	2	0	1	1	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
ノロウイルス	8	2	1	3	7	21	13	13	17	4	4	2	3	0	0	0	0	2	3	1	2	4	9

\* ( ) は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

\* その他の1件は、アエロモナスでした。

\* 先週の、その他の1件増は、アエロモナスでした。

## 広島県感染症発生動向週報

平成30年第50週(12月10日~12月16日)

### 2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	8	結核	8			3		1	1	3
三類	0	発生なし	0							
四類	5	E型肝炎	1					1		
		つつが虫病	3	1				1		1
		日本紅斑熱	1			1				
五類全数	16	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1						1	
		クロイツフェルト・ヤコブ病	1					1		
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1					1		
		侵襲性インフルエンザ菌感染症	1					1		
		梅毒	6			1		2		3
		百日咳	3			1				1
		風しん	3	2				1		

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中市、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町  
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

## 定点・全数把握疾患週報【広島市】(第50週 12/10～12/16)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

## 1. 感染性胃腸炎

定点当たり10.7人の報告があり、第45週以降、増加傾向で推移しています。

ノロウイルスなどを原因とする感染性胃腸炎は、例年12月に流行のピークとなる傾向にありますので、手洗いの励行、便・吐物の適切な処理など感染予防対策を徹底しましょう。

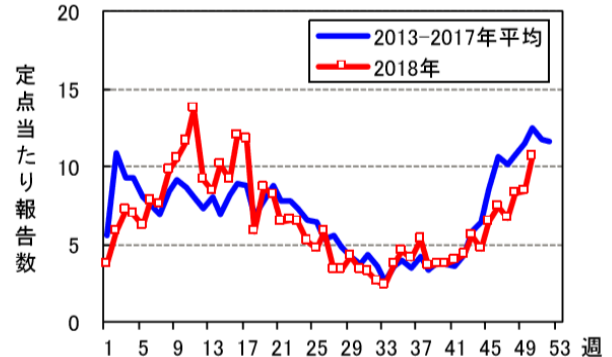
## 2. インフルエンザ

定点当たり1.86人の報告があり、前週と比べてやや増加しました。

## 3. 風しん

1件の報告があり、今年の累計は16件となりました。

感染性胃腸炎の流行状況



【参考】ノロウイルスに関するQ&amp;Aについて(厚生労働省)

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html)

## ■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号
フィルン	インフルエンザ	69	1.86	3.33	◇	小児科	流行性耳下腺炎	4	0.17	0.77	
小児科	咽頭結膜熱	9	0.38	0.51	◇	眼科	RSウイルス感染症	12	0.50	0.96	◇
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	81	3.38	2.93	◇		急性出血性結膜炎	-	-	0.05	
	感染性胃腸炎	256	10.67	12.56	◇		流行性角結膜炎	10	1.25	0.85	
	水痘	9	0.38	0.94		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	4	0.17	0.66			無菌性髄膜炎	-	-	0.14	
	伝染性紅斑	8	0.33	0.41			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.52	
	突発性発しん	9	0.38	0.42			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	4	0.17	0.07			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	

急増減 ↑ (Red arrow) 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ (Yellow arrow) 前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減

微増減 ↘ (White arrow) 前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減

横ばい ⇄ (Grey arrow) ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

## ■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	131	男性(40歳代)
4	E型肝炎	1	5	女性(60歳代)
4	つつが虫病	1	10	女性(80歳代)
5	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	4	男性(50歳代)
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	6	女性(70歳代)
5	優襲性インフルエンザ菌感染症	1	2	女性(60歳代)
5	梅毒	2	104	女性(20歳代)、女性(50歳代)
5	風しん	1	16	男性(40歳代)

## ■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(40.6) 鼻炎	5	男	2018/11/08	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
インフルエンザ	発熱(39.5)	10	不詳	2018/11/11	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
インフルエンザ	発熱(40.5)	6	女	2018/11/12	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H3)型
感染性胃腸炎	嘔吐 嘔気 下痢 腹痛	0	男	2018/10/29	糞便	アデノウイルス5型
その他の呼吸器疾患	発熱(38.0) 細気管支炎	10	男	2018/10/18	咽頭拭い液	百日咳菌
その他の呼吸器疾患	発熱(38.5) 気管支炎	3	男	2018/11/04	鼻汁	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(39.0) 肺炎	1	女	2018/11/05	咽頭拭い液	ライノウイルス
その他の消化器疾患	嘔吐 腹痛	2	女	2018/10/26	糞便	アデノウイルス1型
その他の疾患	発熱(40.0)	4	女	2018/11/03	咽頭拭い液	RSウイルス

\* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載